

科目名	観光企業マネジメント論	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			法学部	□必修 ■選択	
			学部	□必修	□選択
英文表記	Tourism Business Management	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年		
		開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中		
ふりがな	つかはら ゆうじ	実務家教員担当科目	○	修得単位	2単位
担当者名	塚原 雄二	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	観光系の企業を対象として、組織、経営理念、人事、財務、マーケティング等経営の諸機能を学ぶ。				
到達目標	企業人としての実践的な基礎能力を修得する。 観光系か否かを問わず、組織において仕事・経営に携わる者として、必要な基礎知識を修得し、職場や経営上の課題に対し、どう判断しどう対処すべきかその基本的方向を見極める能力を身につける。				
授業概要	・この授業は隔週開催の授業です。 ・観光系の企業を対象として、会社の基本機能、組織、企業統治、経営理念、人事管理、財務諸表、マーケティング、ホテル・エアライン・鉄道の業績管理等について学ぶ。				
授業計画					
第1回	オリエンテーション（シラバスの確認）		トピックス：ポストコロナの観光状況 はじめに：観光企業マネジメントとは何か		
第2回	第1章 会社とは何か				
第3回	第2章 会社の組織・義務				
第4回	第3章 人事管理（社員区分、採用）				
第5回	第3章 人事管理（労働時間、休日）				
第6回	第3章 人事管理（給与、ハラスメント）				
第7回	第3章 人事管理（福利厚生、日本の雇用慣行）				
第8回	第4章 財務管理（財務諸表とは。損益計算書）				
第9回	第4章 財務管理（貸借対照表）				
第10回	中間テスト、第5章 マーケティング（商品づくり）				
第11回	第5章 マーケティング（販売ルート等）				
第12回	第5章 マーケティング（ブランド戦略等）				
第13回	第6章 企業統治、経営理念・ビジョン				
第14回	第7章 ホテルの業績指標（稼働率と単価）				
第15回	第8章 エアラインの業績指標（利用率と収入単価）		第9章 鉄道の業績指標（平均通過人員）		
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	(1) 授業前に、授業用資料に目を通し。前回までの授業内容を復習しておくこと。その際必要に応じ、企業発信の情報や政府統計などで事実の検証を行い理解を深めること。(1.5時間程度) (2) 新聞等のメディアを通して観光系の企業に関わる社会や産業の動向を常時注目しておくこと。主な個別企業が発信する経営に関する情報にも注目しておくこと(1.0時間程度)				
履修条件 受講のルール	ホテル、エアライン、鉄道、レストラン、旅行会社等観光系企業の経営を学びたい人				
テキスト	授業はすべてスライド(授業用資料)を使用して行います。動画等も適宜使用します。 スライド(授業用資料)は事前に大学のポータルサイトを通して配布しますので欠かさずファイルして下さい。				
参考文献・資料	「人事管理入門 第3版」 今野浩一郎・佐藤博樹 日経新聞出版(2020)、				

	「人事の法律常識」第9版 安西愈 日経文庫 (2013) 「誰でもわかる最新貸借対照表・損益計算書」 三重野研一他 エクスメディア (2006) 「コトラーを読む」 酒井光雄 日経文庫 (2008) その他、授業内で適宜紹介します。
成績評価の方法	・定期試験 60%、その他 40%（授業参加度、中間テスト等）を基本として総合的に評価します。 ・出席回数が規定に満たない場合および授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。
オフィスアワー	授業日の火曜日 10:00～10:30、12:10～13:00 、 18:00～18:30 事前にメールで、または授業の前後にリクエストしてください。
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	企業において航空・ホテル・商社の、現場・人事労務・経営企画・海外勤務等に長年携わった経験のなかから体験的な事例を紹介しながら日常のマネジメントから経営の論理まで実感をもって理解してもらるように授業を進めます。
学生へのメッセージ	・この授業は個々の知識を学ぶことを通して、企業人としての基本的なスタンス、価値観について考え身につけることを狙いとしています。 ・企業経営は論理的でありまた人間の感情の産物でもあり、非常に面白いものです。会社経験のない皆さんにとっては、わかりにくいところも多く、またえてして大事な知識ほど内容が退屈に感じられるもので、この授業ではできるだけ多くの実体験のエピソードをまじえてリアルな説明をしていきます。皆さんも不明なところはどしどし質問し積極的に授業に参加されることを期待します。 ・やむを得ず欠席する場合、授業内容で質問のある場合、面談を希望する場合、卒業後の進路で相談したい場合、などいつでも次のアドレスにメールで連絡してください。yuji.tsukary@gmail.com